

Youth

Manna

マルコ1:35
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/5/23(月)

エズラ5章

・神殿建設の再開^{1-5v} 中止していた神殿建設は、預言者ハガイとゼカリヤの預言によって再開される。再開されることを良くないと思っていた人もいたが「神の目が注がれている」ユダヤ人の上には確かに主による守りがあった。
・タテナイの公的文書による信仰告白^{11-16v}
タテナイは、3-4vで建築命令者と責任者を尋ねた経緯、それに対するユダヤ人の回答を丁寧に記した。そこには、ユダヤ人が大胆に神の民として神殿再建に取り組んでいること、一度宮が破壊されても再度王によって再建命令が出されたことが述べられている。
ユダヤ人は何度も主を裏切ってきた。しかし、やはり神の民としての愛と守りがたくさん注がれているのも同時にわかる。私たちも、どんな時も神様が目を留め、導いて下さることを信じ期待しよう。

2022/5/24(火)

エズラ6章

帰還の民が取り組んだ神殿再建工事は二度にわたる妨害にも関わらず、ついに完成する。人々は工事が一度目の妨害で中断した時、「みこころだと思ったのに、自分たちは失敗した」と落胆しただろう。しかし神の目が注がれていたので(5:5)再建工事は成功した(6:14)。そのきっかけとなったのはハガイとゼカリヤの預言だった。
「失敗した」と気落ちすることもあるかもしれない。しかし神様を愛して従うことをやめなければ、きっと最善の道に導かれる。「神様、あなたを愛し従います！」と告白して祈ろう。

2022/5/25(水)

エズラ7章

7章からは、ついにエズラ自身が登場する。彼はアロンの子孫、正統な祭司であり、またモーセの律法に通じている学者でもある。彼は、イスラエル人や祭司たちを引き連れて、4か月かけてエルサレムに上った。これは第二回帰還である(1-10)。
ペルシアの王は、帰還と、人々に神の律法が教えられ、定着することのために手助けをした(11-16)。この異教の国の王が全面的に手助けをした出来事から、そこに働いてくださった神の恵みを見ることが出来る。
一つ一つの出来事のうちに、神が働いてくださることに期待しよう。「神にあって 私たちは力ある働きをします。」(詩篇60:12)

2022/5/26(木)

エズラ8:1-20

1-14節では、エズラと共に帰還した者たちの名前が記されている。そこにレビ人の姿がここにはなかった。これは第一回の帰還から長い年月がたちすでにペルシアで安定した暮らしをしていたからだろう。
しかし、みことばに忠実に従って歩もうとするエズラたち一行はそのまま出発せず、レビ人に呼びかけた。このとき直接、王の権威を帯びたエズラが言うのではなく、11名を選出し伝えに行かせている。ここにも意味があるのだろう。そしてレビ人たちも集まった。
本当の必要がある時、神様は必要な人を送ってくださる。今の私たちの教会を考えてみると所々に奉仕者の不足がある。教会の必要のために祈ろう！！
祈り、必要があるならそこに仕えよう！！

2022/5/27(金)

エズラ8:21-36

神殿完成(6章)からおよそ60年後、学者エズラがエルサレムに帰還した(7:7-9)。その出発直前の様子について書かれている。彼らはまず断食をした。その目的は、①主にへりくだって②道中の無事を求めるためだ。彼らは断食と祈りによって1つとされて、主の平安のなかで4ヶ月に及ぶエルサレムへの旅を始める。
護衛をつけないことが大切なのではない。実際ネヘミヤは護衛と一緒に帰還した。大切なのは、信仰による選びだったということだ。私たちの言葉や行動は、信仰からでているだろうか？それぞれに与えられた信仰によって、考えよう。

2022/5/28(土)

エズラ9章

長旅を終えた後だったけれど、さらにエズラを現実が追い詰めているね。民が異国の偶像礼拝をし始めていたんだ。
エズラはもちろんそれに参加はしていない。だけど、彼はその人々のしていることを、自分のこととして「私たちの罪」と言って恥じ、祈り続けていたね。
自分の周りの人たち、日本や世界に起きていることに目を向けてみよう。その中で神様が思っていることは何か聞き、その人たちのためにも祈っていきましょう！

2022/5/29(日)

エズラ10:1-17

「エズラが神の宮の前でひれ伏して、涙ながらに祈り告白しているとき」に、イスラエルの多くの会衆はエズラのもとに集まってきて自分たちの罪を認め、悔い改めへと導かれた。
エズラは人々を罪から離れさせ、神に従うように、先頭に立って説教をしたわけではなく、会衆に大きな声で投げかけたわけでもなかった。
一人の信仰者の心からの悔い改め、みことばに立つ姿、神の前に自らを捧げる姿に、多くの人たちの心が動かされ、人々の心は神へと向いていったんだね。
私たち一人ひとりにできることは大きくないかもしれない。しかし、一人の信仰者が神に心を向け、へりくだって祈りをささげることには大きな力があります。
静まって祈り、自らの心を神様へと向けていこう。(詩篇51:17)